

“VR旅行”で高齢者を元気に



360度のパノラマ映像に思わず声を上げる参加者

ウェルビス悠愛

高齢者福祉事業を手がけるウェルビス悠愛(株) (福岡市南区日佐4丁目、植木理美社長) は6月25日、同所の「悠愛デイサービスセンター」でサービス利用者にも「VR旅行」体験をプレゼントした。

外出行事の開催が難しい中、サービス利用者を喜ばせようと企画したもので、東京大学先端科学技術研究センター職員の登嶋健太さんが開発したVRを活用し、同氏の補助のもと疑似旅行を体験。屋久島や東京の街並みなど国内の様々な風景がGoogleに映し出され、参加者は非日常を楽しんだ。



「沖繩の海ですよー」。開発者の登嶋さんが解説、補助しながら安全に進行



「本当に旅行した気分」、「夢みたい」と満足げ



「今後も定期的に開催できれば」と池田雄図副社長